

1 2次関数 $y = -x^2 - 3x + 1$ のグラフをかけ。また、その軸と頂点を求めよ。

2 放物線 $y = x^2 - 3x + 2$ は、放物線 $y = x^2 + x + 1$ を x 軸方向に \square 、 y 軸方向に \square だけ平行移動したものである。 \square に適する値を求めよ。

3 ある放物線を x 軸方向に 1、 y 軸方向に -2 だけ平行移動した後、 x 軸に関して対称移動したところ、放物線 $y = -x^2 - 3x + 3$ となった。もとの放物線の方程式を求めよ。

4 次の関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。 $y = -x^2 - 8x$ ($-1 \leq x < 2$)

5 関数 $y = x^2 - 4x + c$ ($1 \leq x \leq 5$) の最大値が 8 であるように定数 c の値を定めよ。

6 関数 $y = ax + b$ ($-1 \leq x \leq 5$) の値域が、 $1 \leq y \leq 13$ となるような定数 a 、 b の値を求めよ。ただし、 $a < 0$ とする。

7 x の 2 次関数 $y = x^2 - mx + m$ の最小値を k とする。
(1) k を m の式で表せ。
(2) k の値を最大にする m の値と、 k の最大値を求めよ。

8 a は定数とする。関数 $y = x^2 - 2ax + a^2 + 1$ ($0 \leq x \leq 2$) の最小値を、次の場合について、それぞれ求めよ。
(1) $a < 0$ (2) $0 \leq a \leq 2$ (3) $2 < a$

9 次の条件を満たす放物線をグラフにもつ2次関数を求めよ。

- 1) 頂点が点(1, 2)で、点(0, 4)を通る。
- 2) 軸が直線 $x = -3$ で、2点(-2, 0), (1, -15)を通る。

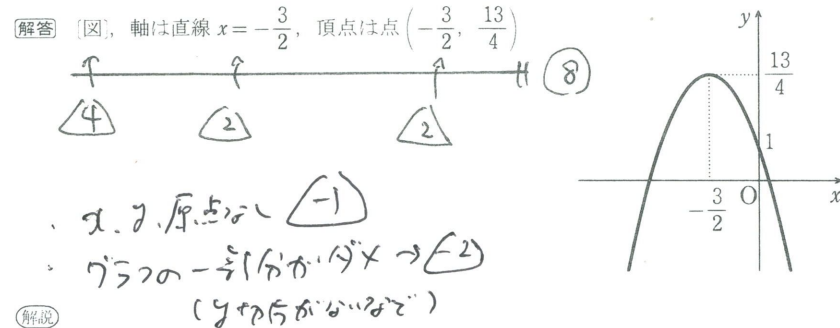
10 2次関数のグラフが3点(-1, 6), (1, -2), (2, 3)を通るとき、その2次関数を求めよ。

11 放物線 $y = x^2$ を平行移動した曲線で、点(2, 3)を通り、頂点が直線 $y = x + 1$ 上にある放物線をグラフにもつ2次関数を求めよ。

12 a は定数とする。関数 $y = x^2 - 4x + 3$ ($a \leq x \leq a + 1$)の最大値を求めよ。

13 $a > 0$ とする。関数 $y = -x^2 + 2(a + 2)x - 2a^2$ ($a \leq x \leq 2a$)の最大値が6であるとき、 a の値を求めよ。

1 2次関数 $y = -x^2 - 3x + 1$ のグラフをかけ。また、その軸と頂点を求めよ。



$$-x^2 - 3x + 1 = -(x^2 + 3x) + 1 = -\left\{\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 - \left(\frac{3}{2}\right)^2\right\} + 1 = -\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{13}{4}$$

よって $y = -\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{13}{4}$

したがって、グラフは上図。

軸は直線 $x = -\frac{3}{2}$ 、頂点は点 $(-\frac{3}{2}, \frac{13}{4})$

2 放物線 $y = x^2 - 3x + 2$ は、放物線 $y = x^2 + x + 1$ を x 軸方向に \square 、 y 軸方向に \square だけ平行移動したものである。 \square に適する値を求めよ。

解答 (ア) 2 (イ) -1 (6)

$y = x^2 - 3x + 2$ を変形すると $y = \left(x - \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{1}{4}$

$y = x^2 + x + 1$ を変形すると $y = \left(x + \frac{1}{2}\right)^2 + \frac{3}{4}$

放物線 $y = x^2 + x + 1$ の頂点 $(-\frac{1}{2}, \frac{3}{4})$ を放物線 $y = x^2 - 3x + 2$ の頂点 $(\frac{3}{2}, -\frac{1}{4})$ に移動させればよい。

したがって、 x 軸方向に 2
 y 軸方向に -1

3 ある放物線を x 軸方向に 1、 y 軸方向に -2 だけ平行移動した後、 x 軸に関して対称移動したところ、放物線 $y = -x^2 - 3x + 3$ となった。もとの放物線の方程式を求めよ。

解答 $y = x^2 + 5x + 3$ ($y = \left(x + \frac{5}{2}\right)^2 - \frac{13}{4}$) (8)

解説 放物線 $y = -x^2 - 3x + 3$ を x 軸に関して対称移動すると $-y = -x^2 - 3x + 3$ すなわち $y = x^2 + 3x - 3$

この放物線を x 軸方向に -1、 y 軸方向に 2 だけ平行移動したものがもとの放物線である。よって、求める方程式は

$$y - 2 = \{x - (-1)\}^2 + 3\{x - (-1)\} - 3$$

すなわち $y = (x + 1)^2 + 3(x + 1) - 1$

ゆえに $y = x^2 + 5x + 3$

4 次の関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。 $y = -x^2 - 8x$ ($-1 \leq x < 2$)

解答 $x = -1$ で最大値 7、最小値はない

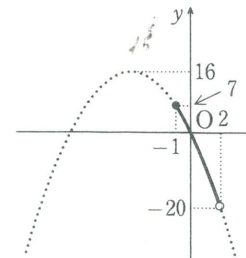
解説 $y = -x^2 - 8x$ を変形すると $y = -(x + 4)^2 + 16$

$-1 \leq x < 2$ でのグラフは図の実線部分である。

よって、 y は $x = -1$ で最大値 7 をとる。最小値はない。

$$y = -x^2 - 8x \quad (-1 \leq x < 2)$$

解説



5 関数 $y = x^2 - 4x + c$ ($1 \leq x \leq 5$) の最大値が 8 であるように定数 c の値を定めよ。

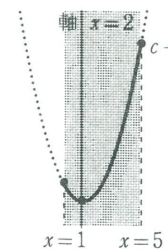
解答 $c = 3$ (7)

解説 $y = x^2 - 4x + c$ を変形すると $y = (x - 2)^2 + c - 4$

$1 \leq x \leq 5$ であるから、 y は $x = 5$ で最大値をとる。

$x = 5$ のとき $y = 5^2 - 4 \cdot 5 + c = c + 5$

$c + 5 = 8$ より $c = 3$



6 関数 $y = ax + b$ ($-1 \leq x \leq 5$) の値域が、 $1 \leq y \leq 13$ となるような定数 a, b の値を求めよ。ただし、 $a < 0$ とする。

解答 $a = -2, b = 11$ (7)

解説 $a < 0$ より、この関数のグラフは右下がりの直線の一部である。よって、 $f(x) = ax + b$ とすると、値域は $f(5) \leq y \leq f(-1)$ すなわち $5a + b \leq y \leq -a + b$

これが $1 \leq y \leq 13$ と一致するから $5a + b = 1, -a + b = 13$

これを解いて $a = -2, b = 11$

これは $a < 0$ を満たす。

7 x の 2 次関数 $y = x^2 - mx + m$ の最小値を k とする。

- (1) k を m の式で表せ。
- (2) k の値を最大にする m の値と、 k の最大値を求めよ。

解答 (1) $k = -\frac{m^2}{4} + m$ (2) $m = 2$ で最大値 1 (8) (74)

解説 (1) $x^2 - mx + m = \left(x - \frac{m}{2}\right)^2 - \frac{m^2}{4} + m$

よって、2 次関数 $y = x^2 - mx + m$ は、 $x = \frac{m}{2}$ で最小値 $-\frac{m^2}{4} + m$ をとる。

したがって $k = -\frac{m^2}{4} + m$

(2) $k = -\frac{m^2}{4} + m = -\frac{1}{4}(m - 2)^2 + 1$

よって、 $k = -\frac{m^2}{4} + m$ は、 $m = 2$ で最大値 1 をとる。

8 a は定数とする。関数 $y = x^2 - 2ax + a^2 + 1$ ($0 \leq x \leq 2$) の最小値を、次の場合について、それぞれ求めよ。

- (1) $a < 0$
- (2) $0 \leq a \leq 2$
- (3) $2 < a$

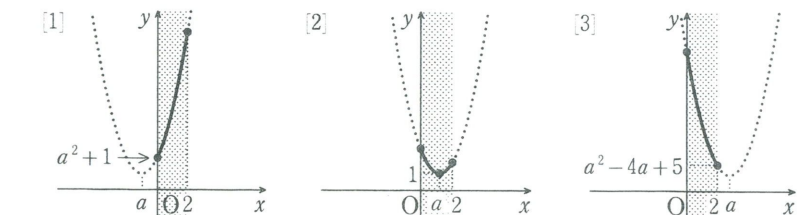
解答 (1) $x = 0$ で最小値 $a^2 + 1$ (2) $x = a$ で最小値 1 (3) $x = 2$ で最小値 $a^2 - 4a + 5$ (9) (73)

解説 この関数の式を変形すると $y = (x - a)^2 + 1$ ($0 \leq x \leq 2$)

(1) $a < 0$ のとき この関数のグラフは図 [1] の実線部分である。よって、 y は $x = 0$ で最小値 $a^2 + 1$ をとる。

(2) $0 \leq a \leq 2$ のとき この関数のグラフは図 [2] の実線部分である。よって、 y は $x = a$ で最小値 1 をとる。

(3) $2 < a$ のとき この関数のグラフは図 [3] の実線部分である。よって、 y は $x = 2$ で最小値 $a^2 - 4a + 5$ をとる。



9 次の条件を満たす放物線をグラフにもつ2次関数を求めよ。

- 頂点が点(1, 2)で、点(0, 4)を通る。
- 軸が直線 $x = -3$ で、2点 $(-2, 0)$, $(1, -15)$ を通る。

解答 (1) $y = 2(x-1)^2 + 2$ ($y = 2x^2 - 4x + 4$)
(2) $y = -(x+3)^2 + 1$ ($y = -x^2 - 6x - 8$)

解説

(1) 頂点が点(1, 2)であるから、この2次関数は $y = a(x-1)^2 + 2$ の形に表される。

グラフが点(0, 4)を通るから $4 = a(0-1)^2 + 2$

よって $a = 2$ ②

ゆえに $y = 2(x-1)^2 + 2$ ($y = 2x^2 - 4x + 4$)

(2) 軸が直線 $x = -3$ であるから、この2次関数は $y = a(x+3)^2 + q$ の形に表される。

グラフが点 $(-2, 0)$ を通るから $0 = a(-2+3)^2 + q$

点(1, -15)を通るから $-15 = a(1+3)^2 + q$

よって $a + q = 0$, $16a + q = -15$

これを解くと $a = -1$, $q = 1$ ②

ゆえに $y = -(x+3)^2 + 1$ ($y = -x^2 - 6x - 8$)

10 2次関数のグラフが3点 $(-1, 6)$, $(1, -2)$, $(2, 3)$ を通るとき、その2次関数を求めよ。

解答 $y = 3x^2 - 4x - 1$ ⑧

解説

求める2次関数を $y = ax^2 + bx + c$ とする。

グラフが3点 $(-1, 6)$, $(1, -2)$, $(2, 3)$ を通るから

$$a - b + c = 6 \quad \dots\dots ①$$

$$a + b + c = -2 \quad \dots\dots ②$$

$$4a + 2b + c = 3 \quad \dots\dots ③$$

②-① から $2b = -8$ ゆえに $b = -4$ ②

$b = -4$ を①, ③に代入して整理すると

$$a + c = 2 \quad \dots\dots ④$$

$$4a + c = 11 \quad \dots\dots ⑤$$

④, ⑤を解くと $a = 3$, $c = -1$ ②

よって、求める2次関数は $y = 3x^2 - 4x - 1$

11 放物線 $y = x^2$ を平行移動した曲線で、点(2, 3)を通り、頂点が直線 $y = x + 1$ 上にある放物線をグラフにもつ2次関数を求めよ。

解答 $y = (x-1)^2 + 2$, $y = (x-2)^2 + 3$ ($y = x^2 - 2x + 3$, $y = x^2 - 4x + 7$)

解説

頂点が直線 $y = x + 1$ 上にあるから、その座標は $(p, p+1)$ と表される。

また、放物線 $y = x^2$ を平行移動したものであるから、その方程式は

$$y = (x-p)^2 + p + 1 \quad \dots\dots ①$$

と表される。

このグラフが点(2, 3)を通るから $(2-p)^2 + p + 1 = 3$

整理して $p^2 - 3p + 2 = 0$

よって $(p-1)(p-2) = 0$

ゆえに $p = 1, 2$ ④

①に代入して

$$y = (x-1)^2 + 2, y = (x-2)^2 + 3 \quad (y = x^2 - 2x + 3, y = x^2 - 4x + 7)$$

12 a は定数とする。関数 $y = x^2 - 4x + 3$ ($a \leq x \leq a+1$) の最大値を求めよ。

解答 $a < \frac{3}{2}$ のとき $x = a$ で最大値 $a^2 - 4a + 3$, ③
 $a = \frac{3}{2}$ のとき $x = \frac{3}{2}, \frac{5}{2}$ で最大値 $-\frac{3}{4}$, ⑧
 $\frac{3}{2} < a$ のとき $x = a+1$ で最大値 $a^2 - 2a$ ②

解説

$y = x^2 - 4x + 3$ を変形すると $y = (x-2)^2 - 1$

よって、この放物線の軸は直線 $x = 2$, 頂点は点(2, -1)である。

また、 $x = a$ のとき $y = a^2 - 4a + 3$

$x = a+1$ のとき $y = a^2 - 2a$

定義域の中央の値は $a + \frac{1}{2}$

[1] $a + \frac{1}{2} < 2$ すなわち $a < \frac{3}{2}$ のとき

この関数のグラフは図[1]の実線部分である。

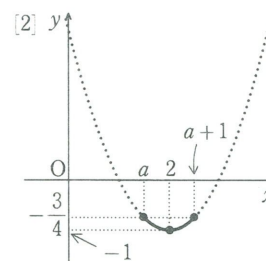
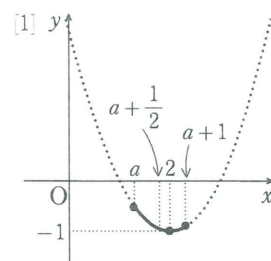
よって、 y は $x = a$ で最大値 $a^2 - 4a + 3$ をとる。

[2] $a + \frac{1}{2} = 2$ すなわち $a = \frac{3}{2}$ のとき

軸は定義域の中央にあり、 $x = a$ と $x = a+1$ における y の値が一致する。

この関数のグラフは図[2]の実線部分である。

よって、 y は $x = \frac{3}{2}, \frac{5}{2}$ で最大値 $-\frac{3}{4}$ をとる。



[3] $2 < a + \frac{1}{2}$ すなわち $\frac{3}{2} < a$ のとき

この関数のグラフは図[3]の実線部分である。

よって、 y は

$x = a+1$ で最大値 $a^2 - 2a$

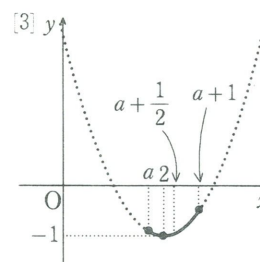
をとる。

[1] ~ [3] から

$a < \frac{3}{2}$ のとき $x = a$ で最大値 $a^2 - 4a + 3$

$a = \frac{3}{2}$ のとき $x = \frac{3}{2}, \frac{5}{2}$ で最大値 $-\frac{3}{4}$

$\frac{3}{2} < a$ のとき $x = a+1$ で最大値 $a^2 - 2a$



13 $a > 0$ とする。関数 $y = -x^2 + 2(a+2)x - 2a^2$ ($a \leq x \leq 2a$) の最大値が6であるとき、 a の値を求めよ。

解答 $a = 1, 2 + \sqrt{2}$ ⑧

解説

$$y = -x^2 + 2(a+2)x - 2a^2 = -(x^2 - 2(a+2)x) - 2a^2 = -[x - (a+2)]^2 - (a+2)^2 - 2a^2$$

$$= -[x - (a+2)]^2 + (a+2)^2 - 2a^2 = -[x - (a+2)]^2 - a^2 + 4a + 4$$

軸が直線 $x = a+2$ で、上に凸の放物線となる。

軸が定義域の中に入るかどうかで場合分けをする。ここで、 a よりも $a+2$ の方が大きいから軸 $x = a+2$ は定義域の左端 $x = a$ よりも右側にある。

[1] $a + 2 \leq 2a$ (つまり $2 \leq a$) のとき

軸 $x = a+2$ は定義域の右端 $x = 2a$ よりも左側にある。つまり軸は定義域内にある。

グラフより $x = a+2$ で最大

最大値は頂点の y 座標より $y = -a^2 + 4a + 4$

最大値が6であるから、 $-a^2 + 4a + 4 = 6$ よって $a^2 - 4a + 2 = 0$

解の公式より $a = 2 \pm \sqrt{2}$ $2 \leq a$ を満たすのは $a = 2 + \sqrt{2}$ ③

[2] $2a < a+2$ (つまり $0 < a < 2$) のとき

軸 $x = a+2$ は定義域の右端 $x = 2a$ よりも右側にある。

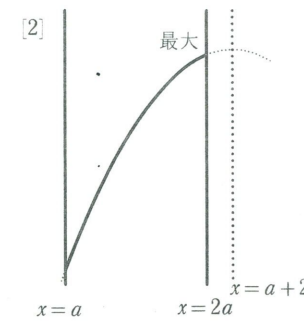
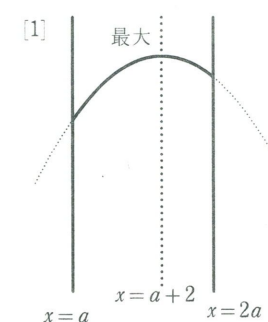
つまり軸は定義域よりも右側にある。

グラフより $x = 2a$ で最大

最大値は $x = 2a$ を代入して $y = -(2a)^2 + 2(a+2) \cdot 2a - 2a^2 = -2a^2 + 8a$

最大値が6であるから、 $-2a^2 + 8a = 6$ よって $a^2 - 4a + 3 = 0$

$(a-1)(a-3) = 0$ より $a = 1, 3$ $0 < a < 2$ を満たすのは $a = 1$ ③



[1], [2] から $a = 1, 2 + \sqrt{2}$